

物語文を読んでえらぼう

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 サッカーのベンチを よんで、そのときの大地の気持ちを1つえらびましょう。

けがで しあいに 出られない 大地は、ベンチから 声を からして なかまを おうえんした。チームが 点を 入れるたび、自分の ことのように こぶしを つき上げた。しあいの あと、なかまが「大地の 声が 力に なった」と 言ってくれた。

1 出られなかったことをうらんでいる。

2 自分もチームの役に立てたと感じ、うれしい。

3 もう応えんしたくないと思っている。

4 しあいに関心がない。

2 祖母の畑を よんで、芋がつぎつぎ出てきたときのみくの様子を1つえらびましょう。

夏休み、みくは 祖母の 畑を 手伝った。土は かたく、なれない 作業に あせが したたる。それでも、自分で ほった 芋が つぎつぎ 出てくると、つかれも わすれて 夢中になった。ほり終える ころには、手も 服も だろだらけだった。

1 つかれてやめてしまった。

2 つかれを忘れるほど夢中になった。

3 どろがいやでにげ出した。

4 何もせずに見ていた。

3 転校生の席を よんで、悠の気持ちの変化を1つえらびましょう。

転校して きた 日、教室の みんなの 視線に、悠は 体が かたくなった。すると となりの 席の 子が「ここ、いっしょに見よう」と 教科書を すっと よせて くれた。悠の こわばった 肩から、少し 力が ぬけた。

1 きんちょうがやわらいだ。

2 ますますきんちょうした。

3 おこりだした。

4 ねむくなった。